

研究倫理教育映像教材「倫理の空白Ⅴ 責任ある研究活動」の オンライン公開について

JST (理事長 橋本 和仁) は、研究倫理教育映像教材「倫理の空白Ⅴ 責任ある研究活動」データ管理編、共同研究編を制作し、JST のウェブサイト公開しました (別紙)。

JST は、研究資金の配分機関として、公正な研究活動の推進に向け、研究倫理教育の実施支援をしています。その一環で、国内の研究倫理教育で広く活用されている e ラーニングやテキストの知識習得型教材と相互に補完できる教材として、ドラマ形式の映像により、具体的な場面を想定して議論をしながら主体的に学習できる教材「倫理の空白」シリーズを制作しています。

1 作目は「理工学研究室編」(ねつ造・改ざん関連)、2 作目は「盗用編」、そして 3・4 作目はそれぞれ疑わしい研究行為 (QRP) を取り上げた「研究活動のグレーゾーン」「研究活動のグレーゾーン 2」を制作しました。

5 作目では「データ管理」と「共同研究」に焦点

シリーズ 5 作目となる今回は、責任ある研究活動に向けて、研究成果の信頼性確保などの観点から重要となる「データ管理」と、分野や組織をまたいで行われる「共同研究」に焦点を当てた映像教材を制作しました。

<データ管理編>では、SNS にて研究室の論文に不正の疑いがあるという投稿がされ、論文のデータが記録された電子ラボノートを用いて検証します。そして投稿した論文に本来の実験結果ではない画像が用いられていたことが発覚するというストーリーの中で、研究データの記録・管理やチェック体制の重要性に気づき、そのあり方を考える内容となっています。

<共同研究編>では、書籍を出版して話題を集めていた教授の研究室が、年齢もキャリアも上の教授の研究室、食品メーカーの三者で共同研究を行います。その中で、研究者間での意思疎通に悩んだり、食品メーカーの製品発表前にも関わらず、研究発表で製品や研究開発成果の情報を公開してしまいそうになったり、それらに向き合い乗り越えていく様が描かれています。また、契約を理解・遵守 (じゅんしゅ) することや情報共有の重要性についても登場人物たちが再認識していきます。

幅広い研究者層を対象とした教材 映像と議論を組み合わせ活用を

本教材は、研究者から研究支援に携わる方々まで、幅広い教育対象を想定しています。研究室主宰者 (PI) にとっては、自身の研究行為のみならず、マネジメントする側として指導のあり方を振り返る機会となり、学生や若手研究者にとっては、指導者の立場も疑似体験しつつ、データ管理や共同研究における留意点、適切な関係構築の重要性を考えることができます。また、研究支援に携わる方々も、研究活動で生じる課題を確認できます。

そして、研究現場で起こり得る、リアリティーのあるケースを通して、主体的に考え、責任ある研究活動を行うための判断力を養える点も特長で、映像の視聴とディスカッションを組み合わせた研修やワークショップなど、大学・研究機関のさまざまな場面での活用が可能です。

本教材が各研究機関における研究倫理教育の一助となり、研究不正を防止し、責任ある研究活動の推進につながることを期待しています。

研究倫理教育映像教材「倫理の空白Ⅴ 責任ある研究活動」の映像は、以下のウェブサイトからご覧ください。

URL : https://www.jst.go.jp/kousei_p/measuretutorial/mt_movie.html

<添付資料>

別紙：JST 研究倫理教育映像教材「倫理の空白Ⅴ 責任ある研究活動」データ管理編、共同研究編

<お問い合わせ>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 法務・コンプライアンス部 研究公正課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5 番地 3

成重 隆也（ナリシゲ タカヤ）

Tel : 03-5214-8390 Fax : 03-5214-8393

E-mail : rcr-eizo@jst.go.jp

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5 番地 3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JST は、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JST は荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JST は、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

JST 研究倫理教育映像教材「倫理の空白V 責任ある研究活動」
データ管理編、共同研究編



1. ストーリー

<データ管理編>

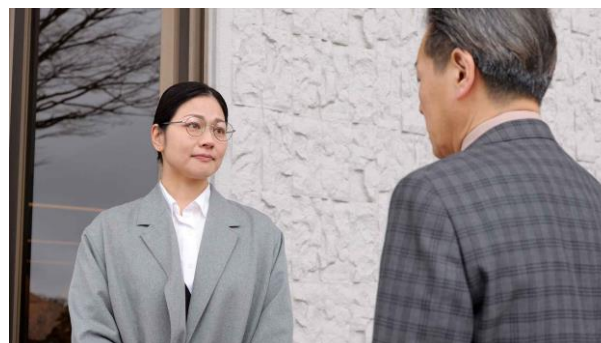
叡都（えいと）大学の根岸研究室が発表した論文はニュース記事でも紹介され、話題となっていた。そんな中、『不正の疑いあり。データの一部は使い回し？』SNS 上に書き込まれた不穏な投稿を見て、メンバーの空気が一変する。根岸教授と研究室のメンバーは不安に陥りながらも、不正がないことを証明するために、論文のデータを電子ラボノートにより検証していく。



どう責任を果たすべきか悩む根岸

<共同研究編>

央理（おうり）大学 大学院農学研究科の竹澤研究室は、食品メーカーと共同研究の契約を結び、機能性表示食品を開発することになった。共同研究には同大学院理学研究科の松村研究室も参加するが、竹澤は年長の松村教授との意思疎通に悩む。企業との契約内容の確認不足、研究者間での情報共有やコミュニケーションの難しさを感じながらも、産学官連携コーディネーターのサポートを受けながら、チームとしての良い関係性を徐々に築いていく。



素直に思いを話し合う竹澤と松村

2. 公開サイト

https://www.jst.go.jp/kousei_p/measuretutorial/mt_movie.html

3. 視聴時間

データ管理編：約 31 分 共同研究編：約 30 分